

APAC天然物創薬コンソーシアム

2021年12月10日
日本製薬工業協会
知的財産部長
藤井光夫

目的・概要

2018年10月に発足したAPAC天然物創薬(NPDD)コンソーシアムは、日本からの技術支援によりアジア各国の生物素材を用い、現地で天然物創薬を展開することを目指す。

APAC: Asia Partnership Conference of Pharmaceutical Associations

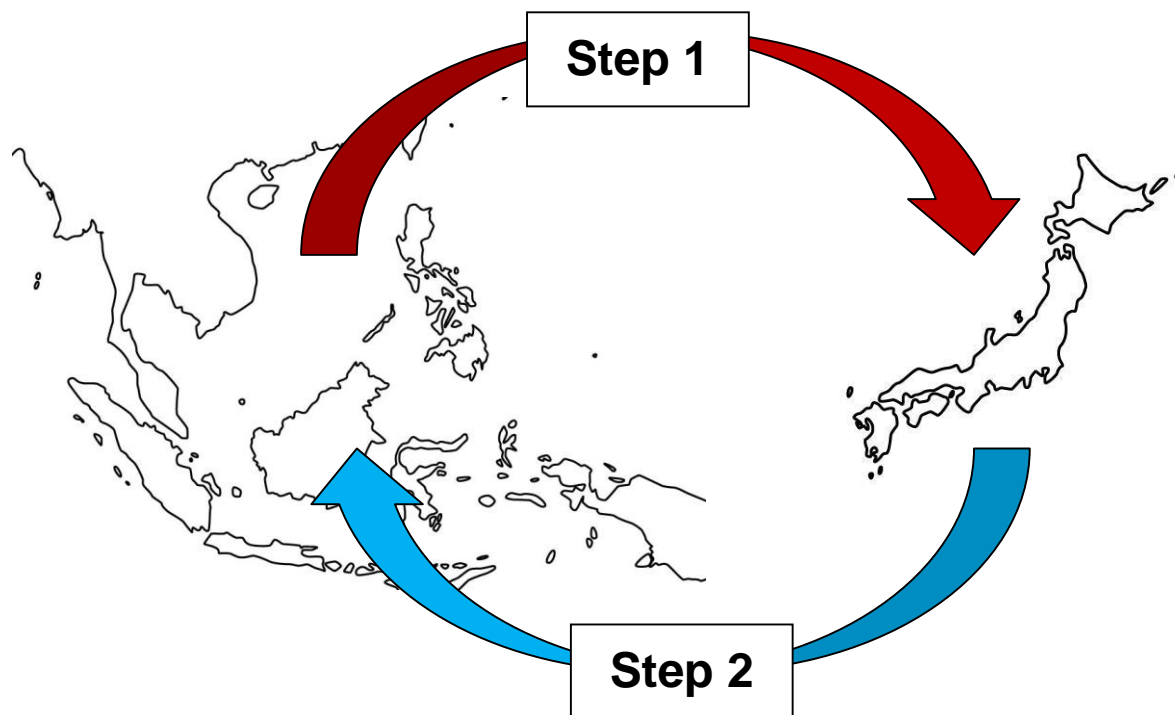
NPDD: Natural Product Drug Discovery

- ・創薬における天然物の可能性を最大限に引き出すアジア規模のコラボレーションプラットフォーム
- ・アジアのオープンイノベーションをリードする若手研究者の能力構築に重点を置く
- ・アジア各国を創薬資源の供給国から創薬研究国へ
- ・本部: TCELS (Thailand Center of Excellence for Life Sciences)
- ・参加国: 日本、タイ、台湾
- ・参加企業: 武田、エーザイ
- ・協力機関: 微生物化学研究所(IMC)、次世代天然物化学技術研究組合(N²PC)

実施概要

- 現地における技術基盤の整備とそれを担う人材育成
←日本の製薬企業がアジアの若手研究者をインターンとして受け入れ、最先端のスクリーニング技術習得等をサポート
帰国後、日本で学んだ技術を活かし、創薬研究に役立つ天然物発掘のため、自国の天然物のスクリーニングを実施
- プロジェクト実施時に、日本の製薬企業と各国コンソーシアム窓口とで契約。各国参加者が創薬研究への貢献に応じ、事業化時等に利益配分を受ける。

現地における技術基盤の整備とそれを担う人材育成



Step 1:日本の製薬会社におけるアジア研究者の能力構築

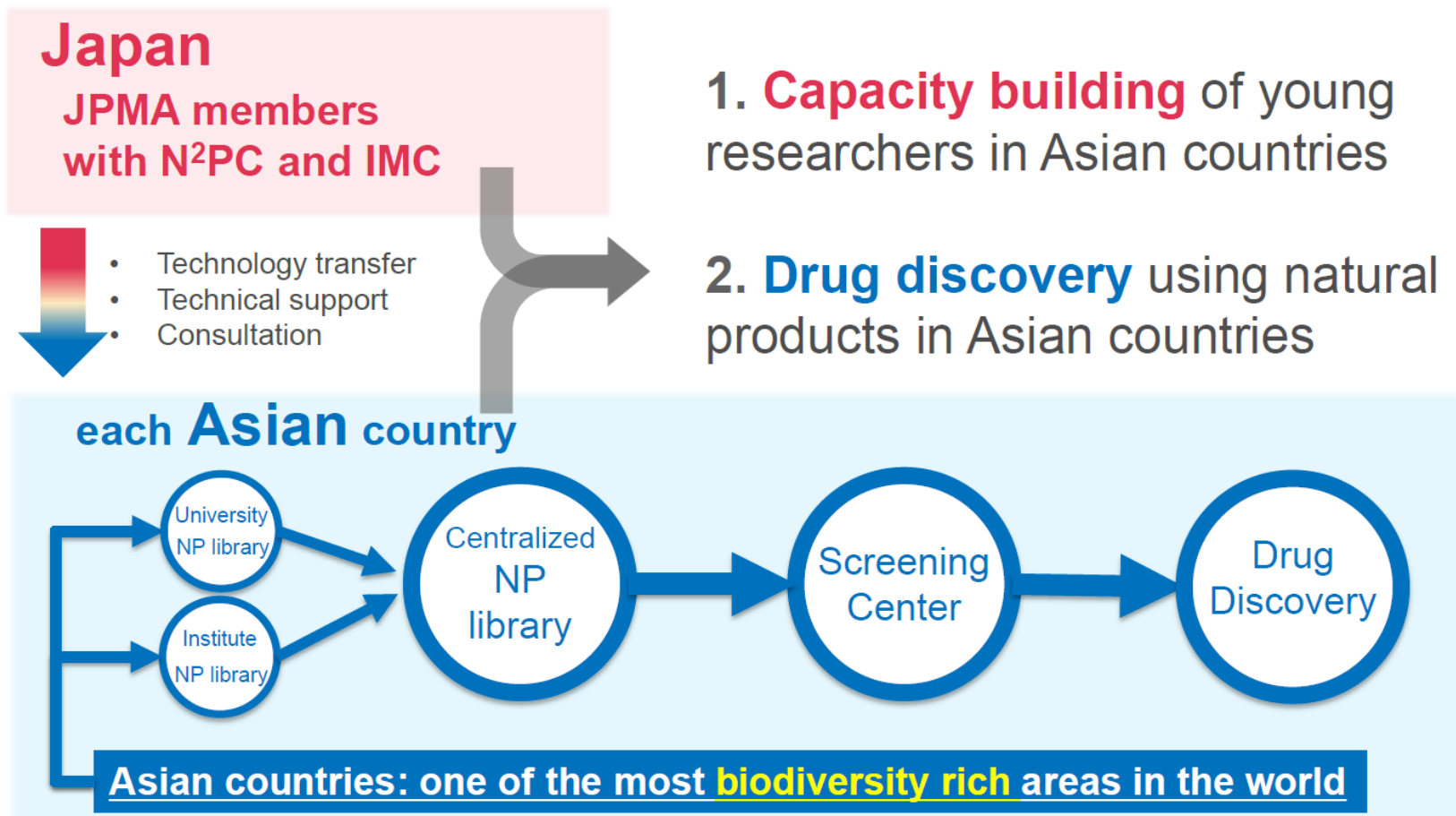
日本の製薬会社がアジアの研究者を招き、創薬のノウハウ取得をサポート

Step 2:アジア諸国の天然物スクリーニング

アジアの研究者は、帰国後、日本の製薬企業で取得した知識を用いて天然物のスクリーニングを実施

全体像

Discover new NPs through APAC NPDD Consortium Constructing unique and sustainable collaboration mechanism in Asia



N²PC: Technology Research Association for Next generation natural products chemistry

IMC: Institute of Microbial Chemistry